

よっちゃんの

きまぐれ新聞

第11号 平成26年9月9日発行

・大工さんが造る長期優良住宅

・自然素材で永く住める家造り

株式会社おがみ工務店 TEL 0772-42-7483

おがみ工務店



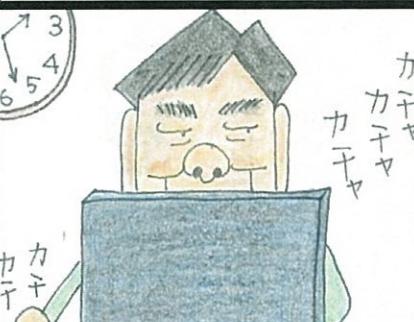
おがみ工務店

staff blog
ogamiな毎日

ブログ "ogamiな毎日"
好評配信中♪

パンフレットや
きまぐれ新聞を
定期購読ご希望の方は
ご連絡ください。

よっちゃんが行く!
「現場男子!」の巻



7. レモンを絞って召し上がる。
6. 天板にクッキングシートを敷き、その上に切り身を並べる。パン粉にいい色が付くまで焼く。
5. 白身魚に白ワイン少々をかけ、その上にマヨネーズを薄く塗る。
4. オーブンを230℃に余熱しておく。
3. オーブンを230℃に余熱しておく。
2. ボールにパン粉(50g)を入れ、パセリ(乾燥でもOK)適量と、クレージーソルト(なければ塩コショウでもOK)適量と、オリーブオイル(50cc)を入れ、馴染むまで混ぜる。
1. 予め、白身魚の切り身(4切れ)に塩をして10分置き、水分が出たら拭き取っておく。



おがみのおすすめ GOOD!

杉の浮造り(ラブくり)板

成長が早く、まっすぐに育つ杉。
「真っ直ぐな木=直ぐ(すぐ)木」というところから
「スギ」と名前がついたと言われるほど、素直に
育つのが杉の特徴です。

材質の特徴は、なんと言っても軽くて柔らかい事。
柔らかいという事は、衝撃を緩和し、手足に優しい
という事です。
足裏の当りがソフトなので、冬素足でも暖かく感じ
ます。カラーフロアだと夏場は、素足で歩くとべた
つきますが、杉の床はサラッとしています。
これは、杉の細胞と細胞の隙間が大きいため、
たくさんの水分や温度を吸収するという特徴から
きています。

ただ、もちろん「柔らかい」「軽い」ための弱点も
あります。

それは、傷つきやすいということ。

でも、その傷も時間とともに色艶が出て、味わいに
なるのが無垢の木のよさでもあります。

特に杉は、飴色に変化して時間がたつほど表情が
出できます。自然と愛着も湧いてきますね。

そういう理由で「おがみ工務店」では、
お客様に杉の浮造り板をおすすめしています。
キッチンやトイレの水周りの床にはおすすめできま
せんが、リビング・寝室・子供部屋・クローゼットなど
の床材や壁材としては最適な木材です。

新築・リフォームをお考えの皆様、
是非、杉の浮造り板をお試しください。



作り方(4人前)



ちゅうと
一品



白身魚のパン粉焼き



完成了!



F様、ありがとうございました!
8月には、見学会を開催致しました。悪天候の中、急遽行つたにも
関わらず、お越し頂きました皆様、本当にありがとうございました!
スタッフ一同、心よりお礼申し上げます。

与謝野町のF邸の改築工事が完成しました。
平屋の屋根裏部分を部屋に改築し、それに伴い一階もリフォームされました。
設計に特にご要望はなく、「お任せします!」と、いうお言葉を頂きました。
感激とプレッシャーでいっぱいになりましたが、出来上がりにとてもご満足頂き、
肩の荷が下りたと共に、とても幸せな充実感を味わうことが出来ました。



わかりますか?

こんな大工用語

『建前(たてまえ)』

『本音と建前』という言葉をよく聞きますが、実はこの
「建前」は「上棟」の時に使われる「建前」からきています。
そして、それはこんなお話を語源と言われています。

昔、とても高名な棟梁がありました。
その棟梁が、明日建前という前の晩になって、自分のミスに
気付きます。玄関の柱を短く刻んでしまって、どう考へても
直せない。棟梁は自分の未熟さに死のうと考えます。

それを知った奥さんが、その部分を升で補うという名案を
思いつきます。棟梁は奥さんの考えに助けられ、枠をつぎ足
して無事、建前を迎えることができました。

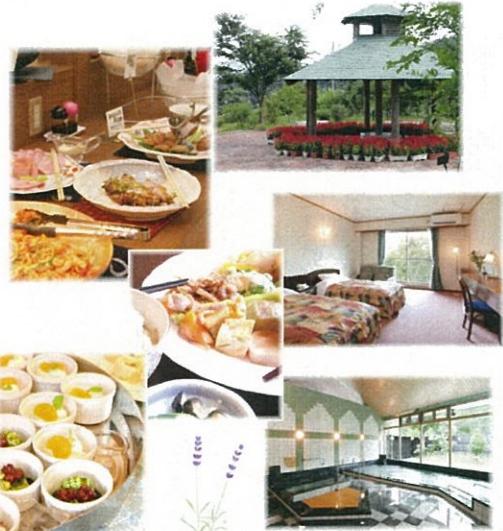
ところが、自分の恥が表に出るのを恐れた棟梁は、自分の
表向きの見栄や意地のために奥さんを殺してしまいました。
殺してから棟梁は、自分の犯した罪を悔い、未来栄却弔うと
心に誓い女の七つ道具【口紅・鏡・櫛・かんざし・おしゃろい
笄(こうがい)・かつら】を棟の上に飾って供養しました。
これが本来の建前の儀式だそうです。

「タテマエ」にこだわるあまり妻を殺してしまった男の見
栄や意地に「ホンネ」で応じた女の悲話が『本音と建前』の
語源になったと言われています。



どうですか?前回載せた『御幣』のお話と似てませんか?
奥さんが「自害した」と「殺された」ので大きな違いは
あります。どうもこのお話がどちらの言葉にも由来している
ようですね。

加悦のいいとこ 紹介した～い！



| 宿泊 | 電話 | 住所 |
|--------------|---------------------------------------------------|--------------------------------|
| 定休日 一泊朝食付 | 〇七七一十四三一一七三〇 | 与謝郡与謝野町金屋一七三〇 |
| 入浴 | 水曜日 | |
| ランチビュッフェ | 十二時～二十一時 十一時～十四時 | |
| | 大人 千六百円 大人 六千七百円 小学生以下 五千一百円 小学生以下 三千一百円 | 幼児 五百八十円 シルバー(六十五歳以上) 一千二百円 |
| | | 大人 五百円 子供 三百円 |
| | | 子供 三百円 |

数 独 (9×9)

次のルールで、全ての空欄に数字を入れてください。

- 空いているマスに、1~9までの数字のどれかひとつを入れてください。
- 縦の列・横の列・太線で囲まれた9個のブロックのいずれにも、1~9までの数字のどれかひとつが入ります。
- この時、「縦の列・横の列」のいずれにも、数字が重複してはいけません。

答えは次週に載せま～す♪

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | | | | 9 | | 5 | | |
| | | | | 1 | | | 7 | |
| 3 | | | 4 | | | | | |
| | | | | 1 | | 6 | | |
| | 7 | 3 | | 6 | 9 | 2 | 8 | |
| 8 | | 1 | 5 | 3 | 7 | 9 | 4 | |
| 4 | | | 8 | 1 | 7 | 2 | 5 | 9 |
| 2 | 8 | | | 5 | 6 | 3 | 4 | |
| 1 | 9 | | 3 | 2 | 4 | 8 | 7 | |

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 「運送会社」 | 「問題発言」 | 「新聞記事」 | 「使い古し」 | 第十号 四文字熟語クイズの答え |
|--------|--------|--------|--------|-----------------|

【運送会社】

【問題発言】

【新聞記事】

【使い古し】

第十号 四文字熟語クイズの答え

【運送会社】

【問題発言】

【新聞記事】

【使い古し】

第十号 四文字熟語クイズの答え

平成二十三年十月にリニューアルオープンした『リフレカヤの里』をご紹介します。施設の中には、お風呂・レストラン・宿泊施設があります。お風呂には、一般浴の他、薬草浴(フレッシュハーブ)、シリク湯、ミストサウナ等、四種類のお風呂があり、ただ体をきれいにするだけなく、ゆったりした時間を満喫していただけます。お風呂でゆっくりしていただいた後は、「森のレストラン」のランチビュッフェもおススメです。レストランは50席あり、地元の野菜や食材をふんだんに使った体にやさしい郷土料理やデザートの数々が並んでおり、バイキング形式で楽しんでいただけます。もつともつとのんびりされたい時は、宿泊されるのもいいんじゃないでしょうか? ホテルには、「ラベンダー」「ミント」「ゼージ」「ローズマリー」「カモミール」「レモングラス」の六つの洋室と「つばき」「ひまわり」の二つの和室があり、清流のせせらぎと鳥の声に目覚め、緑と花木の遊歩道を散歩でき、ゆっくり、ほっこり寛いでいただけること間違いなしです。日々のストレスを全て忘れ、心も体も解放して、リフレッシュしていくたまぐに最適な場所だと思います。



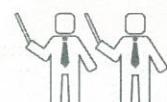
リフレカヤの里

頭の体操



などなど

① 1人のおばあさんがお買い物に
出かけました? どこへ行ったでしょう?



② 学校で先生が2人いるところは?



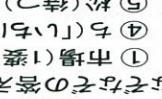
③ おもしろさんがやっているスポーツは?



④ 1日に2回あるのに
1年に1回しかないものってなんだ?



⑤ 待ち合わせ場所にある木は?



スタッフのつぶやき

公園から遊具がなくなっていく…。子供の頃、楽しんだ遊具が…。
シーソー・ぶら下がり式シーソー・回転式ジャングルジム。子供に怪我や事故があったからと、次々遊具が撤去されていく。
昔の子供は怪我しなかったのか? いやいや、昔もたくさん怪我したはず。
怪我をして、怪我をしたら痛いって事知った。そして、なんで怪我したのか? ジャア、どうしたら怪我をしなくて済むのか? を自分で学んでいったんだ。
文具や調理器具なんかも、どんどん便利になって、怪我をしない工夫がすでにされている。
悪いことじゃないと思うけど、自分で考えたり、自分で身を守る能力が鍛えられなくなってるんじゃないだろうか…。
他にも、子供たちがけんかする前に、けんかにならないように配慮する。
もし、問題が起こっても、先に周りが中に入って無理やり解決してしまう。
どうしてこうなったのか? どうしたら仲直りできるのか? どうしたら今度からこういう風にならないのか?
子供たち自身が、考えたり、悩んだりする力がどんどん失われている気がする…。
世の中が全て、「転ばぬ先の杖」状態。「転ばぬ先の杖」を自分で探して、見つけて使うのはいいことだと思うけど、それを先回りして周りの人間が簡単に渡してしまってる気がする。
果たして、困った時に自分で立ち上がる力を子供達は養えているんだろうか…。
「獅子の子落し」 転んだ子供にすぐ手を差しのべるのではなく、我慢して見守ってやることが、その子にとって本当は大切なことなんじゃないかと思う。

